

【2022年度 大学院 学生募集】

■募集分野・募集人員

看護学研究コース / 精神看護CNSコース 6名

■学位

修士(看護学)

■出願資格

次のいずれかに該当する者で、原則として看護師免許を取得した者(2022年3月31日までに該当する見込みの者を含む。)

①大学を卒業した者 ②学士の学位を授与された者 ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

④外国の大学(その他の外国の学校のうち文部科学大臣が指定するものを含む。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑤文部科学大臣の指定した者 ⑥本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

ただし、CNSコースを希望する者は、本学ホームページ掲載の「2022年度大学院学生募集要項」の「専門看護師認定審査の受験資格について」のページを参照するとともに、日本看護協会のHPを参照してください。

■出願資格認定審査

出願資格⑤、⑥で出願を希望する者は、出願前に出願資格の認定審査を受けてください。

申請期間

I期:2021年7月27日(火)～8月17日(火)必着

II期:2021年11月1日(月)～11月16日(火)必着

III期:2022年1月17日(月)～2月4日(金)必着

※II期は入学定員に満たない場合のみ実施します。 ※詳細は本学ホームページ掲載の「2022年度大学院学生募集要項」参照

■入学試験日・出願期間等

入試区分	入学試験日	出願期間(必着)
I期	2021年9月25日(土)	2021年9月1日(水)～9月14日(火)
II期	2021年12月18日(土)	2021年12月1日(水)～12月9日(木)
III期	2022年2月26日(土)	2022年2月7日(月)～2月17日(木)

※III期は入学定員に満たない場合のみ実施します。

入学検定料:25,000円

■学費

入学金:150,000円 授業料:1,000,000円(年額)

■出願希望者の事前相談・募集要項等

- 1)出願希望者は出願前に、各自の希望する分野の教員と電子メール等で連絡を取り、大学院における研究等について必ず相談してください。
- 2)教員の連絡先は、募集要項を参照してください。
- 3)募集要項、出願書類は、本学ホームページからダウンロードしてください。

■進学ガイダンスの実施

2021年7月22日(木・祝)、8月21日(土)、9月18日(土)、2022年3月19日(土)

詳細は入試部へお問い合わせください。なお、日程が変更になる可能性があります。本学ホームページで事前にご確認ください。



山陽学園大学 〒703-8501 岡山県岡山市中区平井1-14-1 Tel:086-272-6254(代表)

入試部:9時～17時(月曜日～金曜日) Tel:086-272-4024(直通) E-mail:nyushi@sguc.ac.jp

2022 山陽学園大学大学院 看護学研究科 修士課程

Graduate School of Sanyo Gakuen University

Graduate School of Nursing

Master's Course in Nursing

看護学の発展及び地域社会における人々の
健康と福祉の向上に寄与します



大学院看護学研究科修士課程の教育・研究目的

看護学分野における高度な専門的知識・能力を持つ看護専門職を担うための卓越した能力を培い、看護学の発展及び地域の保健・医療・福祉の向上に貢献できる人材を育成します。

ご挨拶

本学大学院は、山陽学園の教育理念＜愛と奉仕の精神＞をもとに、看護学分野に関する学術の理論・応用を教授研究し、看護学の発展及び地域社会における人々の健康と福祉の向上に寄与することを目指しています。

医療の高度専門化、人口の少子高齢化、在宅医療の推進など激変する社会にあって、保健・医療・福祉の充実が急務となっています。また、うつ病や統合失調症などの患者は年々増え、今や精神疾患が「がん、脳卒中、心疾患、糖尿病」の4大疾病と並ぶ「5大疾病」に位置づけられました。このように増え続ける精神疾患患者に対する、強力な支援者の育成が喫緊の課題となっています。

こうした社会的要請に応え、本学大学院では看護学の発展を目指し、新しい知識を積み重ねて研究活動を行う「看護学研究コース」と、実践の現場を担う専門職業人育成のための「精神看護専門看護師コース」を設け、より高度な教育・研究成果を最大限活用して、地域社会に貢献していきます。



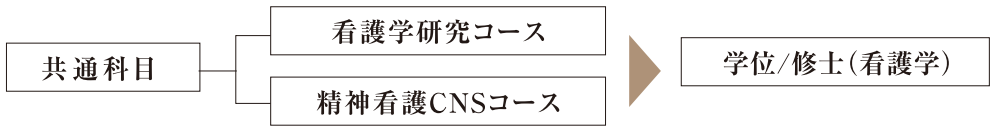
山陽学園大学大学院 看護学研究科
研究科長 揚野 裕紀子

アドミッション・ポリシー

本研究科では次に掲げるような人を望ましい学生像とし、積極的に受け入れたいと考えています。

1. 看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探究心を持って、主体的に看護実践の向上に寄与できる人
2. 高度専門職業人又は教育研究者として、看護学(知識及び技能)の発展に貢献する意欲のある人
3. 保健・医療・福祉の諸問題に積極的に取り組み、問題解決に向けた思考力や判断力を養いながら、研究を遂行できる人
4. 高い倫理観を有し、地域社会に貢献する意志と責任感を持った人

教育課程等の概要



修了要件

看護学研究コース	2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
精神看護CNSコース	2年以上在学し、40単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、課題研究論文の審査及び最終試験に合格すること。

看護学研究コース

看護学の教育・研究者及び高度な教育成果を活用し、地域で活動する看護実践者を育成します。

感染看護学

渡邊 都貴子：感染関連事情の分析及び予防策に関する研究

成人看護学

村田 幸治：生活習慣病や終末期医療に関する研究

精神看護学

揚野 裕紀子：メンタルヘルスリテラシー等に関する研究

コミュニティヘルス看護学

高木 二郎：人々の健康状態をよくする方法を研究

田村 裕子：学校保健に関する研究

在宅看護学

奥山 真由美：高齢者の脱水症予防のケアに関する研究

(2021年4月現在)

精神看護CNSコース

精神看護学分野において、総合的な判断力と組織的な問題解決力をもって活動し、精神看護実践の発展に貢献できる専門看護師(CNS)を育成します。

揚野 裕紀子：メンタルヘルスリテラシー等に関する研究

科目区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
共通科目	看護理論	2	
	看護研究	2	
	看護倫理		2
	看護教育論		2
	看護管理論		2
	コンサルテーション論		2
	国際医療論		2
	臨床薬理学*		2
	病態生理学*		2
	フィジカルアセスメント*		2
	計	4	16
専門科目	看護学研究コース	感染看護学特論	2
		感染看護学演習	4
		成人看護学特論	2
		成人看護学演習	4
		在宅看護学特論	2
		在宅看護学演習	4
		コミュニティヘルス看護学特論	2
		コミュニティヘルス看護学演習	4
		母子看護学特論	2
		母子看護学演習	4
	精神看護CNSコース	精神看護学特論Ⅰ*	2
		精神看護学演習Ⅰ*	2
		特別研究	10
		計	44
		精神看護学特論Ⅱ*	2
		精神看護学特論Ⅲ*	2
		精神看護学特論Ⅳ*	2
		精神看護学特論Ⅴ	2
		精神看護学特論Ⅵ	2
		精神看護学特論Ⅶ	2
		精神看護学演習Ⅱ*	2
		精神看護学実習*	10
		課題研究*	2
		計	26
	計		70
合計		4	86

※は精神看護CNSコースにおける必修科目である。

【長期履修制度】

職業を有する等の事情により、標準修業年(2年)を超えて一定の期間(上限3年)にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを申し出た場合は、審査の上、計画的な履修を認めます。その場合の授業料(年額)は、通常の授業料の年額に2年を乗じた額を、3年で除した額とします。本制度の詳細につきましては担当教員にご相談ください。